

シャープのVRデバイス技術と近鉄不動産のメタバース空間構築のノウハウを活かし、
新たなユーザー体験の創出と事業の発展を目指す

シャープと近鉄不動産がVRおよびメタバース分野において 協業を開始

シャープ株式会社（本社：大阪府堺市堺区、代表取締役 社長執行役員 CEO：沖津 雅浩、以下シャープ）と近鉄不動産株式会社（本社：大阪府大阪市天王寺区、代表取締役社長：倉橋 孝壽、以下近鉄不動産）は、相互の知見、技術、サービスなどを活用し、VRおよびメタバース分野において協業を開始しました。



左：シャープのVRグラス「Xrostella VR1」、
右：近鉄不動産が運営するメタバース空間「バーチャルあべのハルカス」（イメージ）

VRおよびメタバース分野においては、近年の世界的な市場の拡大や技術の進化により、今後メタバース業界の発展と活用の促進が期待されています。シャープは、軽量ボディと高精細なディスプレイにより高い没入感を実現するVRグラス「Xrostella VR1」を開発しました。近鉄不動産は、2023年3月から大阪市のあべの・天王寺エリアをメタバース空間に構築した「バーチャルあべのハルカス」を運営しており、これまでに延べ1,600万人以上の方々にお楽しみいただいています。両社は、今回の協業を通じ、シャープの気軽にメタバース空間へ没入できるVRデバイス技術と、近鉄不動産のメタバース空間構築のノウハウという互いの強みを融合し、新たな可能性を追求してまいります。

両社は、去る11月1日（土）・2日（日）に近畿日本鉄道株式会社が開催した「きんてつ鉄道まつり2025」において、「バーチャルあべのハルカス」のコンテンツを「Xrostella VR1」で体験いただくイベントを実施しました。これを皮切りに、本年12月1日（月）から3日（水）に東京ポートシティ竹芝（東京都港区）で開催されるXR・メタバース関連のカンファレンス「XR Kaigi 2025」にも共同で出展します。あべのハルカスから見下ろした夜景を一望できるジェットコースターに乗車し、実際に夜空を走るジェットコースターに乗っているような体験が楽しめるVRデモを展示します。

両社は今後も、相互の知見等を活かし、XR・メタバース分野をはじめとする新たなユーザー体験の創造とさらなる事業の発展を目指してまいります。